クリーンF 2部降格

関東社会人ラグビー

ラグビーの関東社会人リーグ1、2部入れ替え戦は24日、山梨市のTOSENグラウンドで行われ、山梨県勢で1部10位のクリーンファイターズ（クリーンF）は2部3位の警視庁と対戦。18－20で逆転負けし、3シーズンぶりの2部降格となった。

クリーンFは立ち上がり、相手の勢いに押され、6分までにPG、トライ（ゴール）を許し、10点を追う展開となった。18分にフッカー吉永光一郎がトライを決め、5－10で折り返した。

後半も先にPGを決められたが、12分にWTB垣内崇志のトライ（ゴール）で1点差。20分にFB清水大輝がPGを決めて逆転し、23分にSO松本昇のDGで、18－13とリードを広げた。しかし32分、相手のハイパントの処理をミスしてトライ（ゴール）を奪われ逆転され、逃げ切られた。

▽1、2部入れ替え戦

警視庁（2部）20（10－5、10－13）18クリーンファイターズ（1部）

警視庁	1	1	1	1	10	
			TGP前	TGP後		
クリン	1	0	0	5		
	1	1	1	1	13	18計20

猛反撃一歩届かず

○…クリーンFの日原達仁監督は「受け身にならないように試合に入ったつもりだが、相手のプレッシャーが厳しく、前半はリズムがつかめなかった」と悔やんだ。

相手の運動量が落ちた後半はクリーンFのペースとなり、大半を敵陣で試合を進めて逆転に成功。終盤に逆転を許した後も猛反撃を仕掛けたが、トライにあと一歩届かなかった。

日原監督は「2季1部で戦ってチーム力は上がっていると思う。春には有望な新人も入ってくるので、1シーズンでの1部復帰を目指す」と気持ちを切り替えていた。